

実際に利用することをイメージし、マップのサイズや品質、追加情報などを検討し実用性の高いマップへ仕上げましょう

様々な情報を集めて、作り上げた「手書き」による地図をもとに、防災マップを実用段階へ向けて、仕上げていくためには、印刷配布用のレイアウト校正や、着色などを工夫することにより、地図の見えやすさ、使いやすさ、高い利用価値を付加すること等を考慮した「わかりやすいマップ」づくりが必要です。

以下に地図の清書・印刷や、配布や利用までに必要な事柄について例示します。

1. 地図の清書に向けてのポイント

「手書き」による地図を「配布物」に ～パソコンを利用したデザイン～

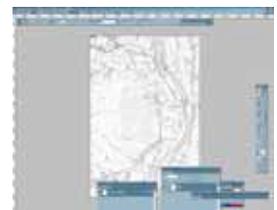
作り上げた「手書き」による地図は、それだけでも十分「地域のための防災マップ」としての役割を果たすでしょう。しかし、その作成に携わった方々には、よくわかって、一般の方々に手に取っていただくと、わからないものになることも考えられます。

今では電子地図ソフトや携帯の地図配信技術などの普及で、簡単にパソコン等で必要な範囲だけ切り取って地図をレイアウトすることもできます。

以下にパソコンを利用したデザインの一例を示します。

マップ版下の読み込み

パソコンに、情報を書き込んだ地図と同じものを「スキャナー」で「画像」として読み込みます。



DTP【机上出版】ソフトによるレイアウト

さらに、「手書き」による地図を横に見ながら、情報の内容をいくつかに分けて、色分けされたものを、再現していきます。その際、DTPソフトを活用します。



DTP【机上出版】ソフトとレイアウト作業について

DTPソフトは、Illustrator(イラストレーター)など様々なソフトがあります。地域内にパソコンに精通する方がいれば、ぜひ相談・検討してください。また、これらの操作や実際の作業などはある程度デザインに慣れている方に依頼することも可能です。

【DTPの主な依頼先】

印刷業者・・・後の製本なども合わせて依頼できます。

デザイン事務所・・・希望に応じたデザインを相談しながら作成できます。

情報を掲載する際は、マーク化・アイコン化して、わかりやすさに配慮する。

「防災マップ」が各種災害等の緊急時にその効果を発揮させるためには、瞬時に情報が視認されるよう配慮するとよいでしょう。

しかし、「防災マップ」の各種事例では、印や、施設名を単に図上に展開しているものも多く見られます。

そこで、「防災マップ」を清書し、情報を掲載する際は、なるべくわかりやすい「マーク化・アイコン化」により、わかりやすさに配慮するとよいでしょう。

【マーク・アイコンの例】

公共公益機関 シェイプの例

自衛隊駐屯地 教会 バス会社 発電所 コミュニティ

防災各種設備 シェイプの例

ブルーシート ブルドーザー 深井戸 チェーンソー 拡声器

公共施設 シェイプの例

広域避難所 備蓄倉庫 マーケットパーク ヘリポート 飲料水供給拠点

防犯防災状況 シェイプの例

有毒物質注意 高圧線注意 液状化注意 不審者注意 浸水注意

民間施設 シェイプの例

ホームセンター 薬局 学校 病院 民宿

safe-design.com より

防災・防犯を研究する大学およびNPOにより運営されているサイト
 防災・防犯マップづくり用の無料のシェイプ集もダウンロード可能

いろいろな情報や書き込み欄なども付け加えるとより効果的に。

マップをより効果的にするためのポイントとして、各地域が必要に応じて取捨選択しているいろいろな情報や書き込み欄なども付け加えると良いでしょう。

情報元、情報網を地域の实情に応じて取捨選択できるような欄

地域へ期待する防災活動としては、「地域における災害情報の収集・伝達」、「安否確認」、「初期消火、救出・救護」、「避難所への組織的な緊急避難」などが挙げられます。そこで、こうした地域の活動を支える情報元、情報網を地域の实情に応じて取捨選択できるような欄の設定を検討するのも有効です。

名 前	電 話 (会社名・学校名)	所 在 地	メモ
			町内会長
			道 長

連絡先	電 話	連絡先	電 話

【欄の設定の例】

避難場所
自宅近くの安全な場所
家族が離れ離れになったときの集合場所
指定避難場所

防災上有益な「防災に関する基礎知識」(トピックス)の添付

地域住民の防災に関する知識の高揚や啓発を行なう手段として、マップを活用するために、防災上有益なトピックスを必要に応じて添付しても良いでしょう。

2. 利用に配慮したマップ作成のポイント

平常時の利用

マップに「情報元、情報網を地域の実情に応じて取捨選択できるような欄」や「防災上有益な「防災に関する基礎知識」(トピックス)」を記載することで、日頃から防災に対する意識啓発など、以下のような効果や利用が考えられます。

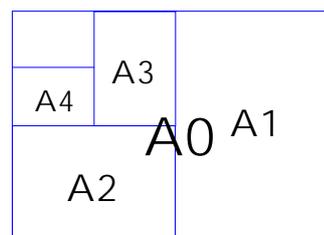
例えば

- ・ 平時の便利帳
- ・ 家族での防災に対する意識高揚のツール
- ・ 学校等での防災に関する教材
- ・ 地域の防災訓練に活用
- ・ 防災への関心を喚起するツール



目的に応じてマップの大きさを工夫するとより、便利なマップとなります。

日頃携帯する A4～A3 サイズ
家庭内で掲示する A1～A0 サイズ
防災冊子として利用 A1～A0 サイズ
両面を使い、
折りたたみ展開
する。



用紙サイズのイメージ

災害時の利用

マップは、災害が発生した場合に避難場所や避難路が確認でき迅速な避難やマップの素材によっては様々な用途に利用が考えられます。

例えば

- ・ 避難時における危険回避
- ・ 高齢者などの災害時要援護者の把握
- ・ 避難時における多目的利用



「防水性の高い紙」にすると
・ 敷物
・ ゴミ袋
・ 雨具
など多目的に利用が出来ます。

各モデル地区の方々は、次のような事柄に注意してマップの最終的な作成に取り組まれたようです。

地図の清書・印刷・利用

岡山市操明学区連合自主防災会の例

岡山市操明学区連合自主防災会は、今回のモデル地区の中でもいち早くマップが完成し、また地域からの早期の成果活用の要望も多かったことから、旭川流域連絡協議会事務局（岡山河川事務所）の協力の下、次のようなステップを経て「防災マップの完成」へたどり着きました。



マークやその他アイデアなどを積極的に提案されました。



地域内のどこに避難すればよいか一目でわかる工夫も。



防災マップの工夫点

視認しやすい凡例を使用

地図に示されるマークが判別できるよう、見やすい凡例を記載します。
なるべく、わかりやすいマーク化により、視認しやすさに配慮します。

凡 例	
	地域の重要な防災拠点です。
	一時的に避難できる公園や民間企業です。
	資材置場・水防倉庫
	公衆電話の位置
	消火栓の位置 防災活動の際使用できる消火栓の位置です。
	防火水槽の位置 防災活動の際使用できる防火水槽の位置です。
	防災備品等の格納位置 防災活動の際使用できる防災備品等の格納されている位置です。
	主な避難経路 災害時はこの経路を主に利用して避難してください。
	危険箇所 過去に冠水した水路です。 *踏切箇所 災害時は注意が必要です。
	公共施設 幼稚園・保育所 小学校 福祉施設 コミュニティセンター
	その他公共施設 消防 岡山市関連施設 国土交通省関連施設
	一時的に避難できる公園、広場等には、このマークが付いています。
	事業所
	コンビニエンスストア
	境界線

色分けした避難イメージと避難場所の一覧によって一目で分かる工夫をしています



番号	避難場所	避難対象町内会
岡山市指定避難場所		
①	操明小学校	操明小用水町内会 藤崎小用水町内会 下藤崎西上町内会 下藤崎第1町内会 下藤崎第2町内会 下藤崎第3町内会 下藤崎第4町内会 下藤崎第5町内会 下藤崎第6町内会 下藤崎第7町内会 下藤崎第8町内会 下藤崎第9町内会 中尾水町内会 江島中町内会 中尾江島町内会 江島1丁目町内会 島野町内会 セイレイ住宅町内会 三郷町内会 新岡山港町内会
②	岡山ふれあいセンター	辻切外東町内会 辻切外西町内会 島野新町内会
③	岡山市消防教育訓練センター	学区全域
協力事業所（一時避難場所）		
①	内山工業株式会社 第二工場 駐車場	三郷港町内会 江島1丁目町内会
②	内山工業株式会社 グランド	新岡山港町内会 三郷港町内会
③	三郷ゴルフセンター（3ホッピングスタジアム）	中尾江島町内会 中尾水町内会 二番用水町内会 江島中町内会
④	中国電力株式会社 江荘グランド	島野町内会 セイレイ住宅町内会
⑤	セイレイ・トータル株式会社 社内広場	下藤崎第5町内会 下藤崎第7町内会 島野町内会
⑥	備前工業株式会社（毛興電機株式会社）	下藤崎第2町内会
⑦	株式会社林原生物化学研究所内 グランド	
⑧	セイレイ工業株式会社 グランド	新岡山港町内会
⑨	岸本石材工業株式会社（5階ビル）	新岡山港町内会
⑩	株式会社三好野 島野工場 駐車場	
⑪	有限会社伊達建設	
⑫	有限会社萩原消火器	
⑬	有限会社防災システム	

避難する場所が瞬時に視認できるように色分けされた、避難イメージ図を記載します。
避難イメージ図に示される、避難場所がどの施設か、また、自らがどこに避難するべきかが、確認できる一覧表を記載します。
災害時に、瞬時に情報が視認できるとともに、日常から避難場所が確認でき、防災の意識啓発を図ることができます。